

科目番号	科目名			英語名	
HE33033	ウイルス学実習			Practice of Virology	
標準履修年次	単位数	開設学期	曜日	時限	使用教室
3年	0.5単位	春学期	集中		4B112
担当教員（研究室・連絡先・オフィスアワー）					
川口敦史（健康医科学イノベーション棟 501・3942・事前に電話、e-mailなどで問い合わせる） 齋藤祥子（健康医科学イノベーション棟 501・3942・事前に電話、e-mailなどで問い合わせる） 加藤広介（健康医科学イノベーション棟 501・3942・事前に電話、e-mailなどで問い合わせる） 竹内 薫（医学学系棟 231・3472・事前に電話、e-mailなどで問い合わせる）					
学習目標					
本実習では、ウイルスの増殖と病原性発現機構およびウイルス感染診断の基礎を学ぶ事を目標とし、インフルエンザウイルスの増殖、検出実験とバクテリオファージを用いた実験を行なう。					
使用言語（ <input checked="" type="checkbox"/> してください）： <input type="checkbox"/> 日本語・ <input type="checkbox"/> 英語・ <input checked="" type="checkbox"/> バイリンガル					
	日程	担当教員	授業概要		
1	5月14日 4-5時限	川口敦史	インフルエンザウイルスのタマゴへの接種実験、培地調製		
2	5月15日 4-5時限	齋藤祥子・加藤広介	ファージタイター測定実験		
3	5月16日 4-5時限	川口敦史・齋藤祥子・竹内 薫	インフルエンザウイルスの検出実験		
4	5月17日 4-5時限	齋藤祥子・加藤広介	ファージの一段増殖実験		
5	5月18日 5-6時限	川口敦史	インフルエンザウイルスの回収、検出実験		
6					
7					
8					
9					
10					
単位取得要件	医療科学類開設の実習科目に共通する単位付与必須要件：1) 2/3以上の出席、および、2) 実習で課されたレポート提出と各C以上の評定。				
使用教科書・教材	実習書				
成績評価	実習態度およびレポートの評定に加えて、個別科目においては試験によって評価されることがある。この科目は【実習レポートと出席】によって評価する。				
備考： 白衣と上履きを準備すること。					